

## 功 績 概 要

### ○文化芸術功労者

部門	分野	氏 名	功績概要
美術	絵画	画家 いしやま よしひで 石山 義秀	穏やかで情感あふれる風景画を中心として精力的に創作活動を重ね、全国各地で個展を開催するとともに、下関市美術協会会長として下関市立美術館での公募展の開催や地元の絵画教室での絵画指導など、絵画を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。
美術	絵画	画家 うしお あつし 牛尾 篤	銅版画や油彩による緻密で独自の世界観を持った作品は、全国公募展で優秀な成績を収めるなど高く評価されている。出版物の装丁や本の執筆など幅広い分野で意欲的な創作活動を展開するなど、絵画を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。
美術	工芸 (硯)	作硯家 ひえだ よういち 日枝 陽一	赤間硯の制作に長年従事し、日本工芸会正会員として、伝統的な制作技術や技法によって作り出される現代的で実用性を兼ね備えた作品は、県内外の伝統工芸展で数多く受賞するなど高く評価されており、作硯を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。
文芸	児童文学	児童文学作家 むらなか りえ 村中 李衣	児童文学作家として数々の作品を発表し、日本児童文学者協会賞や野間児童文芸賞など、多くの賞を受賞するとともに、絵本を介したコミュニケーションの大切さを提唱する活動に取り組むなど、児童文学を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。
音楽	邦楽	新都山流尺八山口県支部長 こばやし たかゆき はんざん 小林 孝幸 (範山)	新都山流尺八山口県支部長を長年務めるとともに、山口県邦楽連盟の理事・副会長として、県内の邦楽団体の連携交流に尽力している。高い演奏技術を保持し、後進の育成・指導に取り組むなど、邦楽を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。
	声楽・ 音楽指導 (合唱)	山口県母の合唱連盟副会長 すえひろ じゅんこ 末廣 順子	声楽家としての演奏活動に加え、山口県母の合唱連盟副会長や山口県音楽協会理事として、団体の運営に尽力するとともに、合唱指導を通じた後進の育成やコンクールの審査員を長年務めるなど、音楽を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。
音楽・舞踊	吟剣詩舞	山口県吟剣詩舞道総連盟会長 ひろしげ ゆきお こうふう 廣重 幸雄 (光風)	山口県吟剣詩舞道総連盟会長や理事長を長年務めるとともに、県代表として全国大会にも数多く出場、大会審査員を務めるなど、本県の吟剣詩舞をけん引している。 また、矯正施設等において詩吟の指導を行うなど、吟剣詩舞を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。

※ 裏面に続く

## ○文化財保護功労者

氏 名	功績概要
長門市文化財保護審議会委員 下関市文化財保護審議会委員 <small>しみず みつゆき</small> 清水 満幸	有形民俗文化財、無形民俗文化財に関する専門家として、2009年から現在に至るまで長門市文化財保護審議会委員（2009～2011 副会長）、2011年から現在に至るまで下関市文化財保護審議会委員を務めるなど、文化財の保護に尽力している。
柳井市文化財保護審議会会長 <small>まつしま さちお</small> 松島 幸夫	史跡に関する専門家として、2007年から現在に至るまで柳井市文化財保護審議会委員（2023～現在 会長）を務めるほか、多くの遺跡発掘調査・整備事業に携わるなど、文化財の保護に尽力している。
<small>おく ほぞんかい</small> サバー送り保存会 <small>うえだ ひさみつ</small> （会長 上田 久充）	1989年の設立以来、現在に至るまで、35年余りの長きにわたり、県指定無形民俗文化財「北浦地方のサバー送り」の保存に尽力した。その間、広く地域住民の協力を得ながら、江戸時代より伝わる地域の伝統行事を、今日まで絶やすことなく維持・継承しており、文化財の保護に寄与した功績は顕著である。